

エディ・アイカウがビッグウェーブを極めていた頃、デューク・カハナモク・インビテショナルと呼ばれるイベントがあった。当時、最も名声と名誉あるビッグウェーブなサーフィンイベントと目されており、サーフィン界でも最も尊敬されるエリートとして認識されたサーファー達だけが、招待によってのみ、参加する事が出来た。数年の挑戦を経て、1977年の冬に、エディはこの大会に勝利する事が出来た。それは彼のサーフィン歴で一番の高得点であり、彼がホクレアで出航する前の、最後の公式な場でのサーフィンとなった。エディは10年以上もこのイベントで勝利し、その勝利を自らの英雄、デュークに捧げたいと願っていたので、この勝利は彼にとってトロフィーや賞金ではなく、記念的な事であった。「振り返ってみれば、エディのサーフィン、ビッグ・ウェーブ・ライディングへの彼の愛情、そして彼のデュークへの敬意は、その頃彼が乗っていた波のサイズを上回っていた」エディの弟で共にサーフィンをしていたクライド・アイカウは言う。今日、ビッグ・ウェーブ・サーフィンにおける最大の栄誉は「メモリー・オブ・エディ・アイカウ」でサーフィンする事だ。

第25回記念クイックシルバー・ビッグウェーブ・インビテショナル・イン・メモリー・オブ・エディ・アイカウの28人の招待選手の一人として、この招待を貴方、

脇田貴之

に差し出す事を、クイックシルバーとアイカウ家は深く光栄に思う。2009年12月3日、午後3時よりワイメア・ベイで開催される伝統的オープニング・セレモニーに参加して欲しい。

サーフィンに対する貴方の愛情、ビッグ・ウェーブ・ライディングに対する貴方の情熱、そして貴方とエディとのつながりが、この冬を忘れられないものとする事を願う。